



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年1月31日

上場会社名 株式会社エフ・シー・シー 上場取引所 東
 コード番号 7296 URL http://www.fcc-net.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 住田 四郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役事業管理統括 (氏名) 中谷 賢史 TEL 053-523-2400
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	92,034	8.1	8,031	1.1	8,794	11.9	5,378	0.7
24年3月期第3四半期	85,160	△3.7	7,940	△23.0	7,857	△21.9	5,339	△22.1

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 9,095百万円 (376.5%) 24年3月期第3四半期 1,908百万円 (△56.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	107.17	—
24年3月期第3四半期	106.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	111,944	88,873	73.1
24年3月期	103,937	81,208	72.3

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 81,884百万円 24年3月期 75,168百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
25年3月期	—	18.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	2.5	11,000	△0.5	11,000	△4.3	7,000	△3.8	139.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）愛富士士（中国）投資有限公司、除外 1社（社名）エフシーシー（ヨーロッパ）リミテッド
（注）詳細は、添付資料 3 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
（注）詳細は、添付資料 3 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料 3 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	52,644,030株	24年3月期	52,644,030株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	2,455,138株	24年3月期	2,455,058株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	50,188,954株	24年3月期3Q	50,189,028株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、インドネシア、ブラジル、タイ、インド等における二輪車用クラッチ販売の減少や中国における日本製品不買運動による影響はあったものの、主要顧客の四輪車生産の回復により売上高は92,034百万円（前年同期比8.1%増）となりました。営業利益は新機種立上げ費用等の増加もあり8,031百万円（前年同期比1.1%増）となったものの、為替差益の発生等により経常利益は8,794百万円（前年同期比11.9%増）、税金等調整前四半期純利益は8,760百万円（前年同期比10.3%増）となりました。四半期純利益は法人税等の増加により5,378百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 二輪車用クラッチ

景気減速による新興国における二輪車需要の鈍化、インドネシア、ブラジルにおけるローンで購入する際の与信管理の強化及び円高の影響等により売上高は50,932百万円（前年同期比4.9%減）、セグメント利益は5,017百万円（前年同期比34.7%減）となりました。

② 四輪車用クラッチ

中国における日本製品不買運動による影響はあったものの、日本、北米における主要顧客の生産が順調に回復したことに加え、フォード向け販売も堅調に推移したことにより売上高は41,101百万円（前年同期比30.2%増）、セグメント利益は3,013百万円（前年同期比1,068.6%増）となりました。

地域別の状況は次のとおりであります。

① 日本

中国における日本製品不買運動による影響はあったものの、主要顧客の四輪車生産の回復により売上高は24,873百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益は2,768百万円（前年同期比109.4%増）となりました。

② 北米

新機種立上げ費用等の増加による影響はあったものの、主要顧客の四輪車生産が順調に回復したことに加え、フォード向け販売も堅調に推移したことにより売上高は22,024百万円（前年同期比43.0%増）、営業利益は1,080百万円（前年同期比263.6%増）となりました。

③ アジア

景気減速による二輪車需要の鈍化、インドネシアにおけるローンで購入する際の頭金規制の実施、中国における日本製品不買運動、並びに円高の影響等により売上高は42,621百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益は3,619百万円（前年同期比29.1%減）となりました。

④ その他の地域

ローンで購入する際の与信管理の厳格化及び円高の影響等により、ブラジルにおける二輪車用クラッチ販売は2,515百万円（前年同期比30.9%減）、営業利益は402百万円（前年同期比44.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は111,944百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,006百万円増加いたしました。流動資産は58,417百万円となり、3,461百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が895百万円減少したものの、現金及び預金が415百万円、たな卸資産が1,837百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は4,544百万円増加し、53,526百万円となりました。これは主に有形固定資産が4,103百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は23,070百万円となり、前連結会計年度末に比べ341百万円増加いたしました。流動負債は39百万円増加し17,752百万円となり、固定負債は302百万円増加し5,318百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は88,873百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,664百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が4,372百万円、為替換算調整勘定が2,319百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年10月26日付「平成25年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間より、愛富士士（中国）投資有限公司は新たに設立したため、連結の範囲に含めております。また、当第3四半期連結会計期間においてエフシーシー（ヨーロッパ）リミテッドの清算が終了したため連結の範囲より除外しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（有形固定資産の減価償却の方法の変更）

従来、当社及び国内連結子会社は定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）は定額法）、在外連結子会社は主として定額法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間よりすべての有形固定資産について定額法に変更しております。

この変更は、今後、当社グループにおいて大型の設備投資、更新が見込まれることから、その使用実態を見直し、加えて、当社グループのグローバル展開の進展を踏まえ、会計処理の統一を図る為に、減価償却方法を再検討した結果、定額法が当社グループの企業活動をより適切に反映していると判断したことによるものであります。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ889百万円増加しております。

（有形固定資産の耐用年数の変更）

当社グループの有形固定資産の使用実態を見直した結果、当社及び一部の在外連結子会社は第1四半期連結会計期間より一部の有形固定資産の耐用年数を変更しております。

この変更に伴い、従来の耐用年数によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ580百万円減少しております。

（連結子会社の事業年度等に関する事項の変更）

従来、決算日が12月31日であった在外連結子会社（エフシーシー（タイランド）カンパニーリミテッド、台湾富士離合器股份有限公司、ピーティエー エフシーシー インドネシア、エフシーシー（ベトナム）カンパニーリミテッド）については、第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更しております。

この変更により、当第3四半期連結累計期間は、平成24年4月1日から平成24年12月31日までの9か月間を連結しております。

なお、平成24年1月1日から平成24年3月31日までの3か月間の損益については利益剰余金に計上していません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,865	21,281
受取手形及び売掛金	16,769	15,873
商品及び製品	2,077	2,558
仕掛品	2,569	2,702
原材料及び貯蔵品	8,572	9,796
その他	4,105	6,211
貸倒引当金	△4	△5
流動資産合計	54,955	58,417
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,280	24,881
減価償却累計額	△11,764	△12,943
建物及び構築物（純額）	11,516	11,938
機械装置及び運搬具	62,852	66,427
減価償却累計額	△47,703	△50,226
機械装置及び運搬具（純額）	15,148	16,200
工具、器具及び備品	10,697	11,238
減価償却累計額	△9,308	△9,822
工具、器具及び備品（純額）	1,388	1,415
土地	7,367	7,256
建設仮勘定	3,082	5,796
有形固定資産合計	38,504	42,607
無形固定資産		
のれん	1,032	825
その他	467	488
無形固定資産合計	1,499	1,314
投資その他の資産		
投資有価証券	6,829	6,961
その他	2,198	2,689
貸倒引当金	△49	△46
投資その他の資産合計	8,978	9,604
固定資産合計	48,982	53,526
資産合計	103,937	111,944

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,851	8,176
ファクタリング債務	2,453	2,601
短期借入金	206	284
未払法人税等	899	1,325
賞与引当金	1,331	753
事業整理損失引当金	336	—
その他	3,634	4,611
流動負債合計	17,713	17,752
固定負債		
退職給付引当金	1,571	1,593
その他	3,444	3,724
固定負債合計	5,015	5,318
負債合計	22,728	23,070
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,175	4,175
資本剰余金	4,566	4,566
利益剰余金	78,720	83,093
自己株式	△3,407	△3,407
株主資本合計	84,054	88,427
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,076	3,100
為替換算調整勘定	△11,962	△9,643
その他の包括利益累計額合計	△8,886	△6,543
少数株主持分	6,039	6,989
純資産合計	81,208	88,873
負債純資産合計	103,937	111,944

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	85,160	92,034
売上原価	69,241	75,558
売上総利益	15,918	16,475
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	914	951
給料及び手当	2,018	2,221
賞与引当金繰入額	133	147
退職給付費用	198	198
減価償却費	150	155
研究開発費	2,199	2,201
その他	2,363	2,568
販売費及び一般管理費合計	7,978	8,444
営業利益	7,940	8,031
営業外収益		
受取利息	258	275
受取配当金	94	110
持分法による投資利益	47	2
為替差益	—	146
その他	208	252
営業外収益合計	608	786
営業外費用		
支払利息	18	6
為替差損	637	—
その他	35	17
営業外費用合計	691	23
経常利益	7,857	8,794
特別利益		
固定資産売却益	40	82
負ののれん発生益	83	—
補助金収入	40	2
事業整理損失引当金戻入額	—	48
特別利益合計	164	133
特別損失		
固定資産除売却損	78	166
特別損失合計	78	166
税金等調整前四半期純利益	7,943	8,760
法人税等	1,899	2,681
少数株主損益調整前四半期純利益	6,043	6,079
少数株主利益	704	700
四半期純利益	5,339	5,378

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,043	6,079
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△711	23
為替換算調整勘定	△3,434	3,002
持分法適用会社に対する持分相当額	11	△9
その他の包括利益合計	△4,134	3,016
四半期包括利益	1,908	9,095
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,863	7,712
少数株主に係る四半期包括利益	45	1,382

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。